

## 運送業向け販売システムと デジタコデータを連携 入力業務の負担を大幅に削減



『SMILE V 2nd Editionトラックスター』がドライバーや経理の業務負担軽減に寄与している

東京都大田区に本社を構える富士陸送株式会社は、食品輸送と海上コンテナの陸送事業という二本柱で、きめ細かな物流サービスを提供している。物流業務に関わる事務作業のデジタル化を積極的に推進する同社は、運送業向け販売システム『SMILE V 2nd Editionトラックスター』と、車両に設置したデジタルタコグラフのデータ連携を実現。これまでドライバーが手書きで行っていた運転日報の作成をほぼ自動化し、経理担当者のデータ入力時間も半減させる先進的な取組を実践している。

### 導入の狙い

- ・手書きとExcel管理の運転日報をデジタル化したい
- ・デジタコを利用してドライバーや経理の業務負担を軽減したい

### 導入システム

- ・運送業向け販売システム『SMILE V 2nd Editionトラックスター』

### 導入効果

- ・デジタコとの連携で運転日報の作成を自動化
- ・手入力による手間の半減とミスの未然防止

### USER PROFILE

富士陸送株式会社

【業種】運送業

【事業内容】一般貨物自動車運送事業、自動車整備事業、損害保険代理店業

【従業員数】113名(2024年10月現在)



## 食品とコンテナ陸送の二本柱で きめ細かく包括的に事業を展開

1951年に創業された富士陸送株式会社(以下、富士陸送)は70年以上の歴史を持つ物流企業だ。創業当時はさまざまな小口配達を請け負っていたが、近隣のパン屋との取り引きをきっかけに大手パン製造会社の配送業務を担うようになった。その後、船で海上搬送されるコンテナの陸上輸送(ドレージ輸送)にも取り組み、食品輸送との二本柱で事業を拡大、安定した経営基盤を確立している。

2015年に代表取締役社長に就任した山本 由起子氏は、「お客様に寄り添った包括的な物流サービスを提供できる、それが当社の強みです。そのような理由から、お客様の拠点近くに営業所を開設し、さまざまなご要望に柔軟に対応できる体制を整えています」と語る。

現在は、横浜・千葉・埼玉・武蔵(埼玉県入間市)・つくばの各営業所と有明サテライトオフィス(東京都江東区)を開設。本社には車両整備部門を設け、全拠点で130台以上ある車両の安全点検を一手に引き受けている。万が一、各営業所で車両トラブルが発生した際には、本社から迅速に代車で駆け付けて対処できる環境を整えている。

2020年には、つくば営業所にコンテナ内陸デポ(小型物流拠点)を新設した。このデポでコンテナを一時的に保管することによって、取引先の要望に応じた無駄のない効率的な配送ルートが選択できるというのは大きな強みとなっている。

ドライバー不足や高齢化など、物流業界を取り巻く人材環境は厳しい。加えて、2024年4月からは、ドライバーの時間外労働時間の上限が年



車両整備部門を併設する本社。社名プレート(写真右下)は創業時から変わらない

間960時間に規制されるため長距離輸送に支障が生じる、いわゆる「物流の2024年問題」が始まった。しかし同社では5年前から労働時間の管理や長距離輸送の見直しを行っており、デポの活用もその一環だという。

他の事業者にも同様にデポを活用してほしい、と山本氏は期待を寄せる。たとえば、ドライバーの労働・拘束時間の負担軽減策として、デポを中継拠点に配送を分けるなど、輸送の効率化を図る公共性の高い新たなビジネスモデルの構築を模索している。行政支援を受けるためにもデポのメリットを周知し、常に社会の変化に対応していくことを念頭に置いているという。

## 運転日報作成における ドライバーや経理の負担を軽減

山本氏は、「IT・デジタル時代の本格到来を踏まえた新しい未来を切り拓く」という強い意志の下、物流業務のデジタル化を積極的に推進している。

以前は、Excelで作られた運転日報で食品輸送の稼働状況を管理していた。ドライバーが日々の業務内容について「何時何分に、どのような荷物をどこまで運んだ」と、すべて手書きしていたのだ。

この運転日報は、各営業所で一時的に保管し、ある程度たまったタイミングで本社に持参していたという。そして、本社の経

代表取締役社長  
山本 由起子氏

「OSKの営業担当の方は、弊社が困っていることに真摯に耳を傾けて対応してくださり非常に助かりました。今後も良きパートナーとして継続的なサポートをお願いしたいです」



管理統括部 課長  
営業企画部 副部長  
窪田 哲学氏

「今回のシステム構築で大きな目標の一つとなったのは、請求業務とドライバーの給与計算の効率化でした。デジタルタコグラフとの連携により、スタッフの業務負担が軽減され、課題解決に近づいたことは大きな成果です」



理担当が運転日報を確認しながらExcelに手入力し、それを基に請求書や給与明細などを作成していたのだ。

「ドライバーは手書きで運転日報を作成するので手間がかかるし、記載漏れなどのミスも発生していました。また、業務量の増加に伴い、経理担当者の作業時間も増え続ける一方でした。社員の負担を軽減するためにも、煩雑な運転日報業務の簡素化は大きな目標でした」(山本氏)

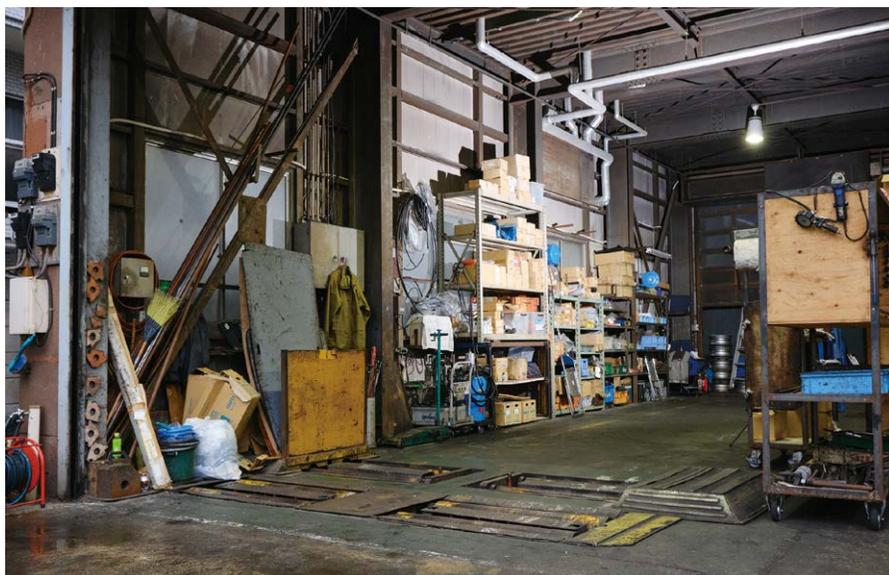
新システムの選定にあたっては、実際に運送業向けのシステムを導入している同業他社に社員が手分けして訪問し、ユーザーとしての率直な意見を聞きながら比較検討したという。その中で、山本氏の目に留まったのが、OSKの運送業向け販売システム『SMILE V 2nd Editionトラックスター』(以下、『SMILE V2トラックスター』)だった。

「操作画面を見せていただいたとき、『これを使えば社員の日々の業務が楽になるに違いない』と直感しました。その運送会社さんでも、社員の方から使いやすいと評判が良い、と聞いて一番の有力候補になりました」(山本氏)

『SMILE V2トラックスター』導入の検討を始めたところで、IT導入補助金を利用すると費用の軽減ができることを知り、それが後押しとなり導入が決定した。IT補助金の申請は、OSKの販売パートナーであるリコージャパンが手続きを全面的にサポートしてくれたおかげでスムーズに進み、非常に助かったという。

## データ連携により入力時間は半減、ミスを未然に防止

2022年6月、富士陸送は食品輸送事業向けに『SMILE V2トラックスター』を導入した。その最大のポイントは、デジタルタコグラフ(以下、デジタコ)とのデータ連携を行い、運転日報の入力作業をほぼ自動化したことである。



車両整備部門では3名の自動車整備士が車両の整備に当たり、事故の未然防止に努めている

デジタコを設置することで、運転中の速度や走行時間、走行距離などの運行データを正確かつリアルタイムに記録できる。同社では、個々の車両に設定したデジタコに出库や帰庫の時間などを打刻することを、ドライバーに周知徹底したという。

新しいシステムの構築作業に携わった管理統括部 課長・営業企画部 副部長の窪田 哲学氏は、具体的な取組や業務の流れを次のように説明する。

「経理担当が管理するExcelの日報シートには、顧客名や配送ルート、請求金額など大量の項目がありますが、それらをすべて手入力していたので、膨大な時間と手間がかかっていました。今回、当社の運転日報に合わせてデジタコの入出力項目を設定し、『SMILE V2トラックスター』との連携部分にカスタマイズを加えています。現在は、『運転日報入力』で取引先や配送便の名称を検索すれば、関連する情報がすぐに呼び出せて、運行データも取り込み済みなので、1件当たりの入力時間は以前の半分程度に削減されているかと思っています。また、入力ミスもほぼ解消されました。さらに、請求書発行までの集計業務で

は、Excelからの転記作業が減り、作業効率がアップしました」

あわせて、マスターの登録作業も進め、常時200~300もある配送便ルートの名称を誰でも直感的に理解できるものに変更した。そのうえで、配送便のルートや取引先の契約情報を紐付けてマスターに登録していった。

## 『SMILE V2トラックスター』への期待

『SMILE V2トラックスター』は、2023年5月から本稼働している。ただし、現時点では請求金額に間違いが生じないように、営業所長がメモ書きした運転日報を経理担当が確認し、システム上のデータと照合してチェックする、という作業も実施している。まだ紙の作業と並行しているのが完全にデジタル化へ移行したわけではないが、かつてと比べると作業効率は格段にアップした。

「全営業所で共有できるサーバー型のシステムを導入するのは今回が初めてだったこともあり、わからないことが多々ありましたが、リコージャパンやOSKの営業の方が親

身にアドバイスをしてくださるので、とても助かっています。複数で同時に入力できるなどLAN版ならではのメリットを感じています」(窪田氏)

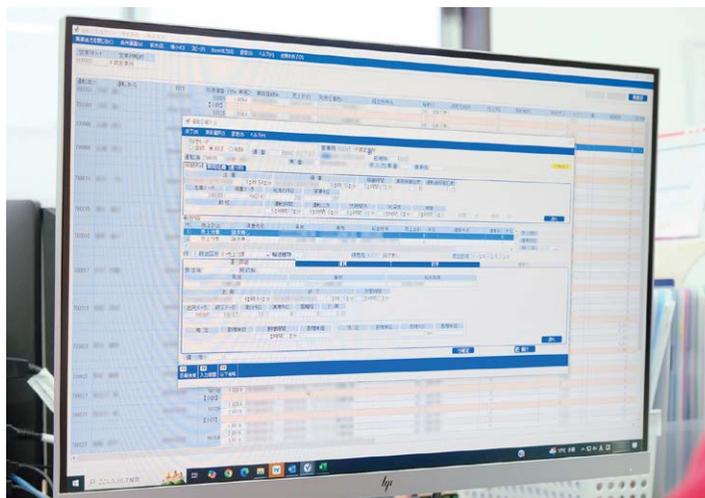
労務管理では、自由帳票を効果的に活用している。

「日によっては配送が3便に上る場合があるなど、ドライバーの勤務体系は複雑です。でも今回、自由帳票設計機能を利用して、ドライバーごとに月単位で勤務一覧表が出力できるようになりました。給与計算の基となる情報なので、とても重宝しています」(窪田氏)

社員には、充実した検索機能が便利で好評だという。閲覧したい情報は人によって異なるケースが多いが、あらかじめ検索条件のパターンを登録しておけば、自分が見たい情報をすぐに検索、確認できるからだ。

山本氏は、OSKのサポート力を高く評価している。

「システムを導入することよりも、それをどのように活用していくか、社員にいかに使ってもらうかが重要だと思っています。当社には専任のIT管理者はいないので、せっかく導入したシステムもうまく活用できるか不安でした。その点、OSKさんはシステム構築後もきめ細かくサポートしてくれまですし、さまざまな相談にも応じてくれるので安心してお任せできます」(山本氏)



『SMILE V2トラックスター』の運転日報入力画面。運行データはデジタコから自動的に取り込まれる

今後も社員のITリテラシーの向上を図りながら、『SMILE V2トラックスター』を活用して、さらに業務効率を高めていく考えだ。



富士陸送株式会社のホームページ  
<https://www.fujirikusou.co.jp/>

お問い合わせ

・会社名、製品名などは、各社または各団体の商標もしくは登録商標です。  
・事例中に記載の肩書きや数値、固有名詞等は取材当時のものであり、配付される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。  
・この記載内容は20●●年●月現在のものです。  
Copyright©20●● OSK Co., LTD. All Rights Reserved.

株式会社OSK  
マーケティング本部  
〒130-0013 東京都墨田区錦糸1-2-1  
TEL:03-5610-1651 FAX:03-5610-1692  
<https://www.kk-osk.co.jp/>